

特別栽培米

ふるさとまい

ゲンゴロウの故郷米



京丹後市大宮町三重・森本地区では、龍谷大学政策学部南京プロジェクトに参加する大学生と協働して、地域を盛り上げる活動を2015年度から行っています。

2016年には活動地域の田んぼで絶滅危惧種に指定されているゲンゴロウ2種を発見しました。

そこで、2017年から生き物や環境にやさしい栽培方法で『ゲンゴロウの故郷米』をつくり、水田生態系の保全に取り組んでいます。



特別栽培米とは？

農薬および化学肥料の使用量を5割以下にして栽培された、減農薬・減化学肥料のお米です。

ゲンゴロウの故郷米とは？

従来の農法では田んぼから水を抜く中干し時に多くの生き物が干上がり消失してきました。そこで『ゲンゴロウの故郷米』の水田では、中干し時でもそこに暮らす生き物が生き延びることができる「深み」を作り、この地域固有の生物たちとの共存が可能な田んぼ作りを目指しています。

『ゲンゴロウの故郷米』を食べていただくことで、特別栽培米に取り組まれている、京丹後市大宮町三重・森本地区の農家さんの応援になります！

また、絶滅危惧種に指定されているゲンゴロウ類の生息環境を増やすことにも繋がります。

ゲンゴロウも住める田んぼで、こだわりをもった農家さんによってつくられた安心・安全のお米である『ゲンゴロウの故郷米』は今回が初の収穫です。

ぜひ一度ご賞味ください！！



龍谷大学
RYUGASAKI UNIVERSITY

京都府京丹後市大宮町三重・森本地区

×

龍谷大学政策学部政策実践探求演習(南京)